

年頭のごあいさつ

明けましておめでとうございます。

皆様方には、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、4月に熊本地震、10月には、隠岐でも震度3から5を記録した鳥取県中部地震のほか、台風10号の大雨による北海道・東北地方の浸水被害など、全国各地で大きな災害が発生いたしました。

こうした自然災害は、どの地域でも起こり得るもので、その怖さを痛感すると共に防災対策・危機管理の重要性を改めて感じたところでもあります。

さて、町政を振り返ってみますと、地方創生に向けた取り組みが本格化するなか、本町においても総合戦略に基づく施策を中心に推進してまいりました。

定住に繋がる施策では、これまでの家賃助成や子育て支援の充実等に加え、4月からは移動環境の改善として、地域住民を対象とした航路運賃の助成事業をはじめたところでもあります。基幹産業においては、施設整備をはじめ新たな加工品開発や販路開拓の支援等のほか、様々な業種の担い手確保対策にも取り組んでまいりました。

教育環境の改善を目指した小中学校の校舎の建て替えも7月に終え、2学期からは、新校舎での新たな学校生活がスタートいたしました。地域に開かれた学校として、住民の皆様にも有効に活用していただきたいと思っております。また、教育・文化の拠点施設として昨年から進めてきたコミュニティ図書館の建設が本格化いたします。図書館の計画にあたっては、基本構想の段階から町民の皆様にもご参加いただいております。引き続き「みんなで作る図書館」にご協力いただきますよう、よろしく願います。

本年4月からは、昨年に成立した有人国境離島特別措置法が施行されることとなり、今後、離島を取り巻く環境は大きく変化することが予想されます。この法律に掲げられた離島航路の運賃低廉化や輸送コストの軽減、観光、雇用対策等に係る支援などを活用し、離島地域の生活に必要な施策の着実な実行に取り組んでまいります。

新春

本町の主要産業である漁業では、好調な漁獲高で推移しているまき網漁業のほか、ヨコワ漁も豊漁でありましたので、本年もこうした傾向が続くことを願っております。また、畜産業においても、子牛の取引価格が高水準で推移しており、引き続き高値安定が続く事を期待しております。観光面では、昨年は一昨年に比べて入込客数で若干の減少がありましたが、外国人観光客が増加しているなど明るい材料もあります。本町の元気の源である基幹産業が、益々発展するよう、今後も引き続き施設整備や新規事業等に取り組んでまいります。

また、本年は旧浦郷町と旧黒木村が合併し、「西ノ島町」が誕生してから60周年を迎えます。その記念として式典、イベントを計画し、町民の皆様と節目の年を祝いたいと思っております。

この節目の年を契機に、本町のさらなる飛躍を目指し、「西ノ島町まち・ひと・しごと創生総合戦略」で掲げている「移住・定住」「産業・雇用」「結婚・子育て」の基本テーマの着実な実行に、町民の皆様と一体となって取り組んでまいりたいと存じますので、ご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

新しい年が、町民の皆様にとりまして、素晴らしい年でありますように祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

西ノ島町長 升谷 健